

## 「やさしい日本語」を知っていますか？

### やさしい日本語とは

「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも簡単で、外国人にもわかりやすい日本語のことです。

1995年1月の阪神・淡路大震災では、日本人だけでなく日本にいた多くの外国人も被害を受けました。その中には、日本語も英語も十分に理解できず必要な情報を受け取ることができない人もいました。

そこで、そうした人達が災害発生時に適切な行動をとれるように考え出されたのが「やさしい日本語」の始まりです。「やさしい日本語」は、分かりやすい言葉に変換されていることから、小さな子供や高齢者、障害のある人などにも有効な情報伝達手段だと考えられています。

### 【やさしい日本語の例】

※写真、イラスト、図表などを使うとより効果的です。

「火災が発生しました。  
避難してください。」

「<sup>かし</sup>火事です。<sup>に</sup>逃げて ください。」



「津波が来ます。  
高台に避難してください。」

「<sup>つなみ</sup>津波 <sup>たか</sup>〈高い <sup>なみ</sup>波〉です。」

「<sup>たか</sup>高い ところに <sup>に</sup>逃げて ください。」



### チェック

「やさしい日本語」には、こうすれば必ず理解してもらえると決まった答えはありません。何が伝わりやすいかは、相手の知識・経験などによって異なります。相手を思いやり、易しい言葉と「わかりやすく伝えよう」とする優しい気持ちで使いましょう。

内容についてのお問い合わせは  
県人権施策推進課まで

☎073-441-2566

